

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121231047	住居管理論	倉橋 友行			2	選択	3前期

科目の概要

生活の器である住居を適切に管理し、快適で健康な生活を送るとともに、地域や地球の環境にも配慮した住まい方が求められている。住居の管理を通じて、住生活そのものをより良く知り、改善していくために、日常的に心掛けるべきことを習得し、自らが実践していける力と、他者への支援ができる力を身につける。この授業では、住まいにおけるライフスタイルを自らデザインできるようにするために必要な専門的知識を修得し、活用できる能力を身につける。また、DP①②③④に記載されている社会人基礎力の修得を図り、地域社会に貢献する人材の育成を目指します。

学修内容	到達目標
① 住居の基本的知識を習得する。 ② 住居管理で考慮すべき事項を総括する。 ③ 具体的な管理の対象・方法が理解でき、管理の評価に基づく、次のステップに進む知見を得る。 ④ 自らの住生活を住居管理の観点から省察・改善できる資質を身につける。 ⑤ 住居管理を学び、自らの暮らしを自ら考察しデザインし創造する。	① 住居の基本的知識を獲得している。(DP①②) ② 住居管理の必要性や課題を適切に説明できる。(DP①②) ③ 管理対象についてどのような方法や取組によってより適切な管理が可能となるかを示すことができる。(DP③) ④ 自らの住生活を住居管理の観点から省察・改善できる。(DP④) ⑤ これからの暮らしを自ら問題意識を持って考察し、図面に表現し、創造することができる。(DP③④)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	日本の住まいの適切な管理を知るという目標に向かって、講義を基礎に、自らすすんで自己学習を進めていくことができる。
	働きかけ力	
	実行力	実物を観察する、資料を収集する、問いかける、議論するなど、能動的に取り組みつづけることができる。
考え抜く力	課題発見力	事象の背景にある脈絡や関係性について、常に「なぜ」と問いかけ、より高次のステップを目指すための課題を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	事象を理解し、知識を習得することを通じて、さまざまな知識を有機的に関連づけられるような、自らの知のフレームを創り上げるよう努力できる。
チームで働く力	発信力	学習の過程で抱いた疑問や知見を、より広い文脈の中に位置付け、ポイントを適確に示しつつ要領よく発信することができる。
	傾聴力	人の意見に対して、真摯に受け止めようとする態度をもって耳を傾けるとともに、その意見への賛否を応答し、発展的な議論となるように展開することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。明示的なルールに従うことにとどまらず、共に学ぶ者が啓発し合えるように、良識ある態度で授業に取り組むことができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

参考書『住まいの文化』、豊かな暮らしのためのテキストブック 中文化研究会、学芸出版社、2200円
 参考書『私たちの住まいと生活』、彰国社、2400円
 参考書『図解住居学6 住まいの管理』、図解住居学編集委員会、彰国社、2800円

他科目との関連、資格との関連

「住居管理論」は、空間・情報デザイン科目の住分野の専門科目で、「住宅計画」や「住文化論」で学んだ知識や問題意識を踏まえて学修する。また、その後の「住宅計画」の基盤となる科目である。
 資格との関連：インテリアコーディネーター

学修上の助言	受講生とのルール
授業には相当時間の予習・復習が前提であることをよく理解し、毎回の課題等に真摯に取り組んでください。	常に、google classroomをしっかりと確認して授業に臨んでください。各回の授業の終了時に、次回授業の資料を示すので、事前に調べてください。 提出課題は、期間内に提出すること。 6回以上の欠席（遅刻は3回で欠席1回分とする）は科目放棄として扱う。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	40	①	✓		「授業内課題」 ・住空間において、人・物・サイズを知り主観と客観の両面で考察し、物を縮尺をもってまとめあげる能力を評価とします。(15点) ・授業の進捗状況や学生の状況を勘案して、授業中に課す。 「日本の住様式」「快適な生活」「安全性」「これからの住宅」「家具の寸法」などについての筆記・作図課題を課す。(25点=5点×5回) ・内容に著しい不備があるもの、提出期限遅れのものは、減点の対象とする。 (獲得) 専門用語や理論などを正しく理解し、整理する (60%) (活用) 学んだ理論を使って、実際の生活を分析・関連付け解釈する (20%) (解決) 自ら立てた問いに対して調査を行い、独自の結論を提示する (20%)
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	50	①	✓		成果発表 (各授業後半にて作図実習) ※筆記試験の代わり ・住空間を条件の中で人・物を考察し、ディスカッションし、作図し、提案するまでの総合点として評価します。 ・物の寸法を知り、自分なりのアイデアを持ってまとめ上げているかを評価します。 ・作業図面を丁寧に仕上げ、的確な表現ができているのかを評価します。 ・さまざまな場の使い方を知り、意図を持って表現することによって自らの問題意識を解決する能力を持つことができることを目的に評価します。 (獲得) 住空間にある要素の使い方、設計知識を知る (30%) (活用) 獲得した知識、技能を作図、表現に生かす (30%) (解決) 作図、表現をもって新たな提案をする (40%)		
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・実際の住まいや資料などを通じて、授業の学習内容がより深めることができる。 (実行力) ・知識の獲得・深化のために授業、授業以外への学習行動に取り組むことができる。 (課題発見力) ・講義での質疑応答やレポート課題において、常に問いかける視点をもつことができる。 (創造力) ・テーマ毎の学習内容の関連を考え、多面的な見方と、総合的なとらえ方をすることができる。 (発信力) ・ポイントや結論を明確に示し、わかりやすい表現で意見を述べることができる。 (傾聴力) ・話し言葉や書き言葉の内容を理解し、加えてその文脈にも思いをめぐらすことができる。 (規律性) ・講義に前向きに臨み、指示された課題等に真剣に取り組むという学習者の基本的姿勢を継続的に保ち続けることができる。		
			②	✓			
			③				
			④				
			⑤				
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①住居、住居管理の基本的知識が確実に習得され、これに基づいて健康・快適・安全・豊かな自らの住生活のための具体的な方策やその効果・限界を表明できること。 ②住居管理について、多様な住み手の住居に対する管理課題やニーズを把握し、適切にアドバイスできる能力を身につけていること。 S (秀) = ①+②、 A (優) = ①	①住居、住居管理の基本的知識が確実に習得されていること。 ②これに基づいて健康・快適・安全・豊かな住生活に向けた実践への意思が明確に表明できること。 B (良) = ①+②、 C (可) = ①

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業ガイダンス～教科書「設」と「様」の内容を理解し考察する	講義 質疑応答 ディスカッション	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいの中の「設え」と「様式」を自らの言葉で説明できる。	(予習) 自らの住居または家族の住居について問題点や困っていることを列挙する。教科書p8～23を読み、疑問点その他自ら理解する。 (復習) 自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	教科書「格」と「式」の内容を理解し考察する。	講義 質疑応答 ディスカッション	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいの中の「ハレとケ」と「イソ式とユカ式」のそれぞれの違いを自らの言葉で説明できる。	(予習) 教科書p24～39を読み、疑問点その他自らPCなどで調べ理解する。未完了の課題を完成させておく。 (復習) 自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	教科書「境」と「間」の内容を理解し考察する。	講義 質疑応答 ディスカッション	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいの中の「境界」と「間」を自らの言葉で説明できる。	(予習) 教科書p40～55を読み、疑問点その他自らPCなどで調べ理解する。未完了の課題を完成させておく。 (復習) 自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	教科書「季」と「伝」の内容を理解し考察する。 実習(家具の作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・「季節の中の暮らし」と「伝承される暮らし」を自らの言葉で説明できる。	(予習) 教科書p56～69を読み、疑問点その他自らPCなどで調べ理解する。未完了の課題を完成させておく。 (復習) 自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	教科書「材」と「構」の内容を理解し考察する。	講義 質疑応答 ディスカッション	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・暮らしの中の「材料」と「構造」を自らの言葉で説明できる。	(予習) 教科書p70～85を読み、疑問点その他自らPCなどで調べ理解する。未完了の課題を完成させておく。 (復習) 自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	教科書「納」と「浄」の内容を理解し考察する。 実習(物の作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・暮らしの中の「収納する場」と「洗浄する場」を自らの言葉で説明できる。	(予習) 教科書p86～101を読み、疑問点その他自らPCなどで調べ理解する。未完了の課題を完成させておく。 (復習) 自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	教科書「寝」と「食」の内容を理解し考察する。 実習(物の作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・暮らしの中の「寝る場」と「食の場」を自らの言葉で説明できる。	(予習) 教科書p102～117を読み、疑問点その他自らPCなどで調べ理解する。未完了の課題を完成させておく。 (復習) 自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	教科書「集」と「共」の内容を理解し考察する。 実習(物の作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・暮らしの中の「集まる場」と「共存する場」を自らの言葉で説明できる。	(予習) 教科書p118～133を読み、疑問点その他自らPCなどで調べ理解する。未完了の課題を完成させておく。 (復習) 自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	教科書「棲」の内容を理解し考察する。 実習(作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・地球の中で「暮らすこと」を自らの言葉で説明できる。 ・丁寧に作図ができる。	(予習)教科書p134~143を読み、疑問点その他自ら理解する。未完了の課題を完成させておく。 (復習)自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	参考書「2-6住まいの安全と健康」の内容を理解し考察する。 実習(作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・「暮らしの中の健康」を自らの言葉で説明できる。 ・丁寧に作図ができる。	(予習)自らの暮らしの中で危険なところを列記する。未完了の課題を完成させておく。 (復習)自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	参考書「3-1住まいとインテリア」の内容を理解し考察する。 実習(作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・「インテリアにおける検討事項」を自らの言葉で説明できる。 ・丁寧に作図ができる。	(予習)自らの暮らしの中で改善したいインテリアを列記する。未完了の課題を完成させておく。 (復習)自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	参考書「3-2家具の人間工学」の内容を理解し考察する。 実習(作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・「心地よい椅子テーブルの寸法」を自らの言葉と図解で説明できる。 ・丁寧に作図ができる。	(予習)自らの家の椅子とテーブルの寸法を測定しておく。未完了の課題を完成させておく。 (復習)自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
13	参考書「4-1住まいのメンテナンス」の内容を理解し考察する。 実習(作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・住まいの中のメンテナンスの有無を知り、考察することができる。 ・丁寧に作図ができる。	(予習)自宅もしくは実家の不具合箇所を列記する。未完了の課題を完成させておく。 (復習)自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	参考書「4-2リハウスとリフォーム」の内容を理解し考察する。 実習(作図)	講義 質疑応答 ディスカッション 実習	・意見や疑問点を明示した受講ノートの作成。 ・リハウスとリフォームの概要を説明することができる。	(予習)未完了の課題を完成させ、口頭発表の準備を行う。 (復習)自分の暮らしと授業を照らし合わせ、受講ノートに記す。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
15	課題作品の講評を通して、課題内容を理解し再確認を行う。 作図の発表(※筆記試験の代わりとする)	プレゼンテーション (口頭発表) 講評	・他学生の作品の発表を通して、課題内容を理解し、また自作の課題を見直し問題点を発見することができる。	(予習)未完了の課題を完成させ、口頭発表の準備を行う。 (復習)口頭発表を通じて自作の課題を見直し、修正案を考察する。 受講ノートをまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力